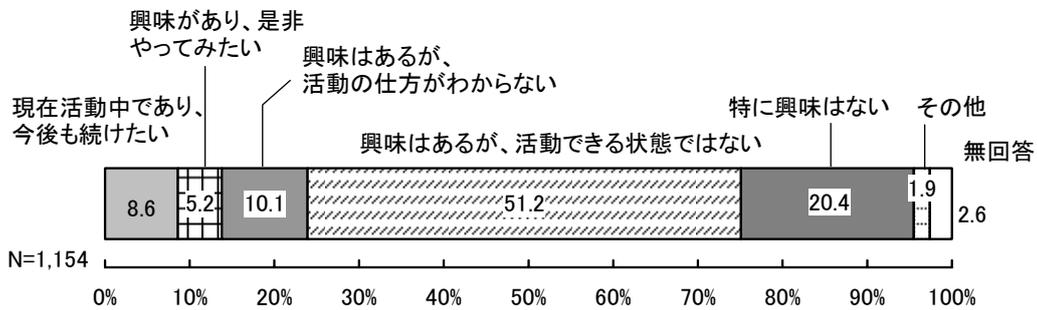


◆ボランティアについて

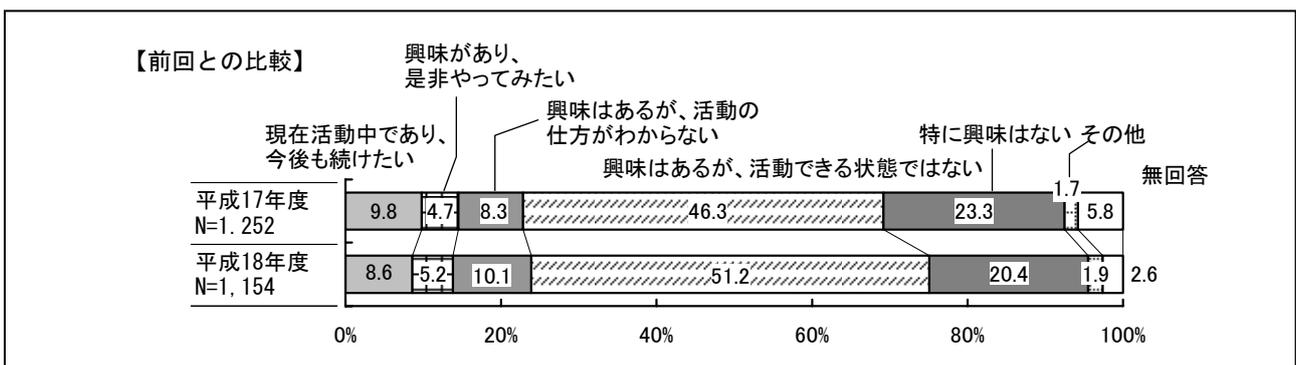
問9 あなたはボランティア活動について、どう思われますか。(1つに○)

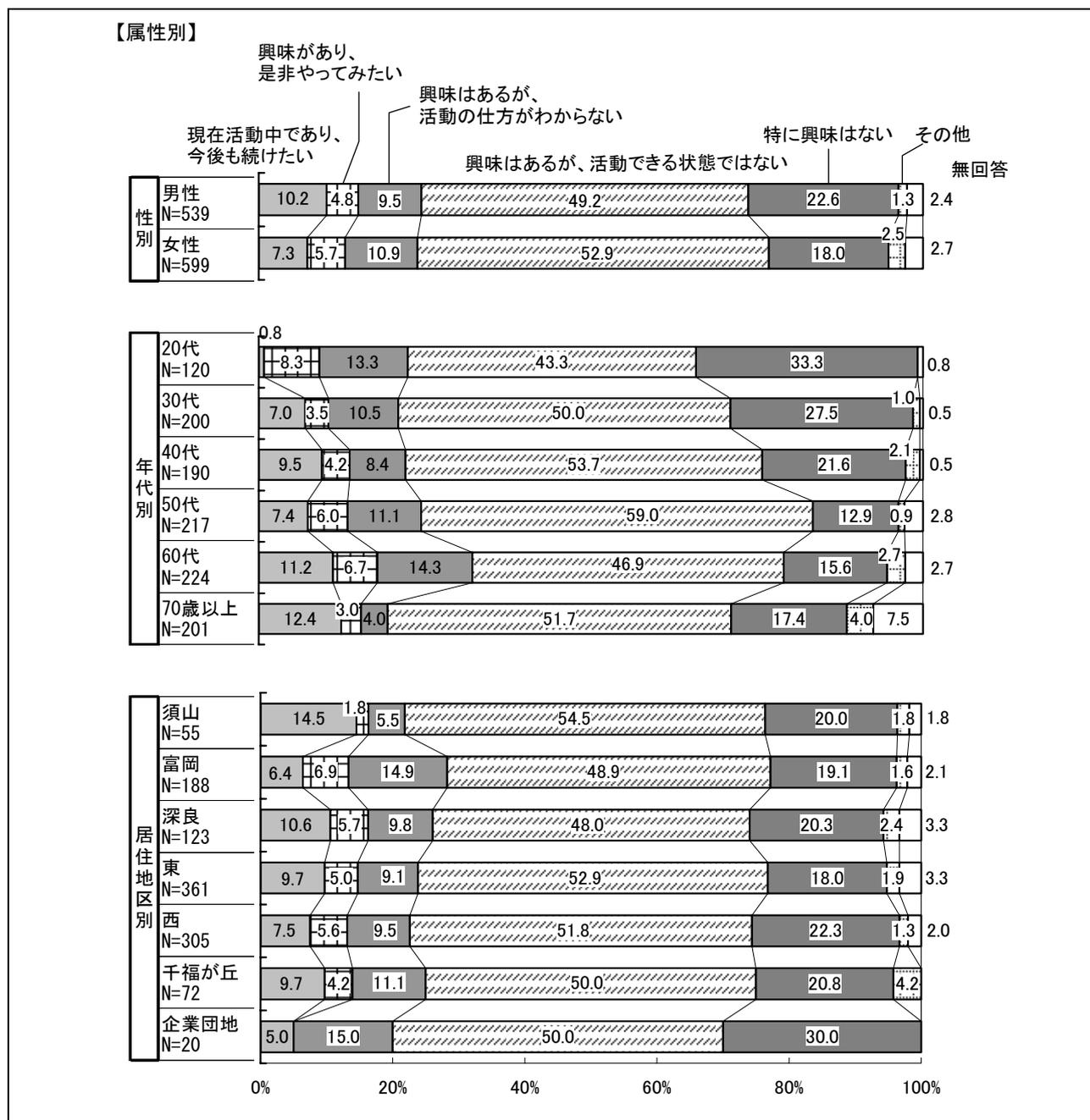


ボランティア活動を現在している割合は1割に満たない。今後の意向は更に少ない。年代が高いほど、現在活動中である割合が高い傾向。

ボランティア活動についての考え方は、「興味はあるが、活動できる状態ではない」が51.2%で過半数を占めている。この選択肢をはじめ、興味はあるが活動をしていない割合が大半を占め、「現在活動中であり、今後も続けたい」は8.6%と1割に満たない。一方「特に興味はない」は2割を占めている。

下記のグラフのように前回と比較すると、「現在活動中であり、今後も続けたい」、「特に興味はない」のいずれも微減している。一方、興味はあるが、現在何らかの理由で活動していない人、及び活動意向のある人のいずれも前回より高くなっている。



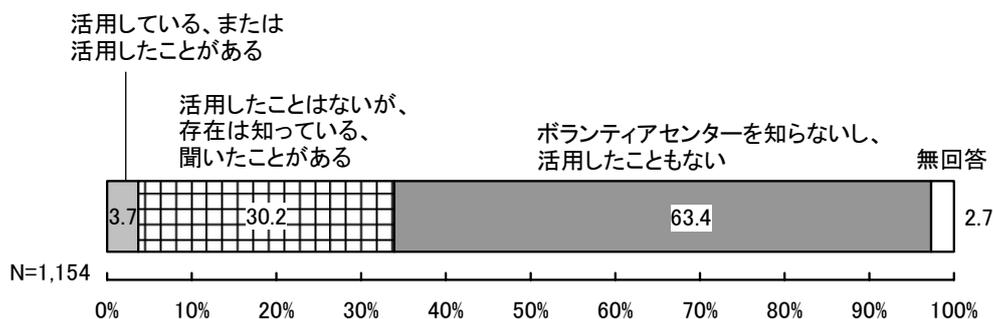


性別にみると、現在活動している割合は男性が女性を上回っているが、興味のある割合は、いずれも女性が高くなっている。

年代別にみると、現在活動している割合は、年代が高いほど割合が高い傾向となっている。「興味はあるが、活動できる状態ではない」は、30代～50代、及び70歳以上で過半数と高くなっている。その理由は前者が仕事や家事で、後者は身体的、健康的であることが推測される。

居住地区別にみると、「現在活動中であり、今後も続けたい」は、須山で14.5%と最も高くなっている。今後の活動意向である「興味があり、是非やってみたい」は、富岡が6.9%で最も高い。

問 10 市ではボランティア活動を支援するため、福祉保健会館内にボランティアセンターを設置していますが、活用したことはありますか。(1つに○)



ボランティアセンターを「知らない」人が6割強。
年代が高いほど周知率は高い。

ボランティアセンターの周知状況、及び活用状況は、「ボランティアセンターを知らないし、活用したこともない」が63.4%を占めている。「活用している、または活用したことがある」は3.7%である。

次頁のグラフのように属性別にみると、性別では周知、活用状況いずれも、女性が男性を上回っている。

年代別では、年代が高いほど周知の割合が高くなる傾向が顕著にみられ、周知している（「活用している、または活用したことがある」+「活用したことはないが、存在は知っている、聞いたことがある」）は、20代では16.7%であるのに対し、70歳以上では46.8%と、約3倍近くまで増加している。

居住地区別では、須山、東、西の周知率が高く、いずれも3～4割を占めている。活用は須山の割合が最も高い。

【属性別】

活用している、または
活用したことがある

活用したことはないが、
存在は知っている、
聞いたことがある

ボランティアセンターを知らないし、
活用したこともない

無回答

